

## チェルシーハウスとは（※ホームページから転載）

### （1）活動の内容と目的

学校や学年、専門分野を超えた寮生同士のつながりが、新たな気づきを生み、また、多種多様な業界で活躍する社会人との出会いを通して、日常生活で得た学びを普遍的な考えと変えるヒントを得ることができます。チェルシーハウスは、大学では得られない学びを提供し、悔いのない充実した大学生活をサポートします。

### （2）活動開始のキッカケ

大学の教育改革を支援する NPO 法人 NEWVERY では、従来から大学生のポテンシャルはもっと高いはずなのに十分にそれが引き出されていないと感じていました。研究教育は大学だが、人間教育は学生寮が担うべきだとも考えていました。

学生寮の仲介・斡旋事業を長年手掛けてきた(株)ネストレストでは、近年の経済合理性を重視した学生寮のあり方に疑問を感じていました。

これらの NPO と企業が出会い、「学生の成長」を第一に考えた学生寮プロジェクトを立ち上げようと考えました。それが「チェルシーハウス」です。

### （3）チェルシーハウスという名前の由来

かつてニューヨーク・マンハッタンで著名な芸術家や音楽家、作家が好んで滞在した「チェルシーホテル」からインスピレーションを得ています。チェルシーホテルのように、若者たちの精神的な試行錯誤や交流を見守る場にしたいという願いが込められています。

次ページに続く

(4) メディア掲載

- ① 日本経済新聞 (2015年3月23日朝刊) で、チェルシーハウスの取り組みが紹介されました！記事は、学生寮の役割が見直され、企業の採用活動でも「寮生」に熱い視線を送ることが増えてきたことを伝えています。

日本経済新聞 2015年(平成27年)3月23日(月曜日)

# 今こそ学生寮

## 就活へ意識高める 若手社会人が相談相手

学生寮の役割が見直されている。社会人や外国人留学生らと触れ合う機会を設ける寮が相次いで誕生。学生の社会的視野を広げたり、国際感覚を磨いたりする狙いがあるという。寮生活で培われるコミュニケーション能力や協調性などに期待して、採用活動で「寮生」に熱い視線を送る企業も増えてきた。

東京小平市に昨春オープンした学生寮「チェルシーハウス」。特徴は、寮生6人の1グループに相談役として、商社や広告代理店、大学などに勤める若手社会人2人が配置されることだ。毎月1回は2階建てで、2人1寮に入ったが、社会人や講師が話し相手になる。寮生活を通じて、将来の進路が喜ぶ。川島大希(ともき)さんは、社会人との交流を期待して昨年10月に寮に入った。寮生活で培われるコミュニケーション能力や協調性などに期待して、採用活動で「寮生」に熱い視線を送る企業も増えてきた。

芝浦工業大の国際学生寮では寮内のルールについて英語で話し合う(さいたま市)＝同大提供

安さプラスαの寮が増えている

| 寮名・大学名                               | 特徴                                  | 毎月の費用            |
|--------------------------------------|-------------------------------------|------------------|
| チェルシーハウス(東京都小平市)                     | 寮生6人に社会人2人が相談役                      | 4万6700円(光熱費など含む) |
| 島根県育英会の大阪学生会館(大阪府吹田市)                | 島根県内の経営者らによる講演会                     | 6万円(朝夕食付き)       |
| 芝浦工業大大宮キャンパス「国際学生寮」(さいたま市)           | 半数が留学生。英語によるミーティング                  | 3万5千円(光熱費など別)    |
| 早稲田大「WISH」(東京都中野区)                   | 寮独自の教育プログラム。4人に1人が留学生               | 5万3千円(光熱費など含む)   |
| 東京理科大学野田キャンパス「野田国際コミュニティハウス」(千葉県野田市) | 和室、茶室、庭園など日本風の設備を用意                 | 7万8300円(食費込み)    |
| 神奈川大「国際寮」(横浜市)                       | 女子学生のみ入寮可。シェアキッチンやコミュニティスペースで留学生と交流 | 5万円(光熱費など含む)     |

外国人留学生と共同生活する「国際寮」を大学が新設する動きも相次いでいる。寮生活を経験した学生に企業側も注目し始めている。人材サービス業の「ガーディアンシップ」(福岡市)は4月から、寮で1年以上生活した学生向けの就職支援サイト「寮生就職ナビ」を本格稼働する。同じように、寮生に的を絞った就職支援サイトの開設は全国で初めてという。「寮生が集団生活で育ん

と話すなかで地方を活性化させる仕事にも興味を湧いた」と話す。島根県育英会(松江市)が運営する大阪学生会館(大阪府吹田市)も昨年6月から月1回、島根県で活躍する経営者らを招き、「働くこと」をテーマにした講演会を開いている。講演会を共催するNPO法人「しまね未来創造」(松江市)の佐藤夏雄事務局長(61)は「学生の職業意識を高め就職のミスマッチを防ぎたい」と狙いを話す。講演後の意見交換が白熱することもしばしば。寮生で神戸大4年の松浦友也さん(22)は「講演会を通じて島根の魅力も再確認した。就活では地元企業も選択肢に入っている」という。

留学生 異文化学

② 朝日新聞 (2015年2月6日金曜日刊) にてチェルシーハウス国分寺が掲載されました。チェルシーハウスの概要と、寮生の声が掲載されております。

# 「学べる」学生寮へ 進化中

安くて、古めかしい……。そんな印象もあった学生寮が変わりつつある。生活の場から、就職活動も意識した「教育寮」としての役割を持たせる大学も出てきた。

早稲田大学は昨年、東京のJR中野駅近くに国際学生寮「WISH」(地上11階)をオープンさせた。初年度は定員872人に対する申込数が約3倍の人気。関東1都3県以外の出身者が優先で、4人に1人は留学生だ。

「米国のポストン大やコロンビア大の寮の良いところを探り入れた」という寮は、フィットネス室や音楽室も備える。全室個室(8・6平方メートル)で、原則4人でリビングを共有する。寮生は独自の教育プログラムに参加しなければならない。企

| ■各家の概要                        | 部屋数           | 毎月の費用                        | 入居期間            |
|-------------------------------|---------------|------------------------------|-----------------|
| 早稲田大学WISH<br>(東京都中野区)         | 872人<br>(定員)  | 53000円(水道・光熱費を含む)            | 2年間(9月入学者は1.5年) |
| 国際教養大学<br>(秋田市)               | 185室(原則2人部屋)  | 20000円                       | 1年間             |
| チェルシーハウス<br>(東京都小平市)          | 28室<br>(2人部屋) | 32000円、光熱費・通信費など14700円       | 最長5年            |
| きょうと留学生オリエンテーションセンター<br>(京都市) | 89室<br>(1人部屋) | 32500円(共益費・インターネット回線使用料など含む) | 1年以内            |

## ジム・共有リビング 早大

業の採用担当になったつもりで「ドラフト会議」を開いたり、アジアの企業の相違点や共通点を比較したり。多様な価値観を持つ寮生同士が議論し、問題解決やコミュニケーションの力を養う。寮を担当する葛山康典・社会科学部教授は「一言で言えば社会人教育。グローバル人材としての素養を身につけてほしい」と話す。

国際教養大学(秋田市)は新入生全員が1年間寮生活を送る。日本人と留学生の相部屋が基本。小林和世学生課長は「生活環境の中でも多くの文化の中にいれば、他文化を理解し、相手を受け止めた上で自分で判断する力が身につく」と話す。問題が起きたら、消灯時間や

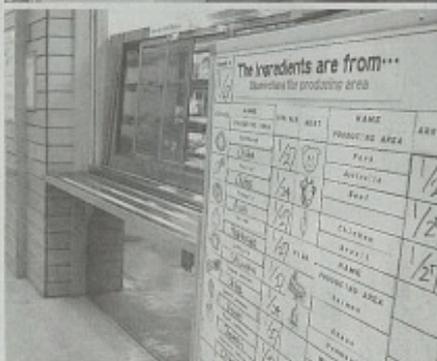


早稲田大の「国際学生寮WISH」には、各フロアに「フィットネス」がある。東京都中野区

## 食堂テレビは英語 国際教養大

掃除の分担などを決めたルームメイトとの「契約」に基づいて話し合う。食堂のテレビは米CNNと英BBCしか映らない。図書館は24時間開館。市センターからは車で約30分離れた場所。徹底的に学ぶ環境に置かれる。2人で使う部屋は14平方メートル狭いが、1年生の西野準人さん(18)は「寝るために帰るだけだから気にならない」と笑う。

今後、「テーマ別ハウス」を導入する予定だ。「メディア」「日本文化」などテーマごとの棟に約20人が暮らす。講師が講義もする。小林課長は「生活寮から教育寮に変えたい」と思っています」と話す。日本学生支援機構の調査によると、学生寮を設けている大学(高等専門学校を含む)は増加傾向。2008年度は47・1%、10年度は51・2%。13年度は53・7%だったという。



寮に併設されている食堂。メニューや産地も英語で示されている。秋田市の国際教養大学

## 社会人と交流／留学生支援

### NPO・自治体

大学生の中退予防などに取り組む教育系NPO法人「ニューベリー」は昨年、「チェルシーハウス」(東京都小平市)を開設した。

近隣の一橋大や国際基督教大を中心に20以上の大学、大学院の学生計約50人が住む。寮生活のルールは月に1度の寮内会議で自分たちで決める。大手広告会社員や大学教員ら16人がサポーターとして月に1度は寮を訪れ、大学生活の過ごし方や就職活動についての相談に乗る。



リビングルームには、夕方になると自然に人が集まってきた。後方のガラス戸で仕切られた部屋はスタディールーム。東京都小平市の「チェルシーハウス」

がったと話す。北海道の大学を休学し、インターン中の中富智弘さん(22)も「知識と行動力がある人たちに会って、『負けていけない』と刺激になった」と話す。寮生同士で話すうちに料理教室や読書会などを開くことも。留学経験者から話を聞いて留学を決めた寮生もいる。寮の運営に携わる「キューレーター」を務める斉藤寛子さん(30)は「大学内だけで過ごしていたら出会わなかった人や、興味がなかったこととつながり、化学反応が起こる」と話す。自治体が寮を整備する動きもある。京都府は留学生を増やそうと昨年3月、「きょうと留学生オリエンテーションセンター」(京都市)をオープンした。89人が入居できる。府内の留学生は約7千人。18年までに1万人に増やすことをめざす。運動会や餅つき大会などを通じて留学生と地域との交流も生まれているという。国際交流に興味がある日本人学生も入居している。府の委託を受けてこの寮を運営するナジック学生情報センターは、全国で100棟超の学生寮を管理する。学校法人営業部(西日本)の筒井三和部長は「最近の若者は1人部屋を与えられて育ってきた。人間関係が深まる寮が見直されているのでは」と話す。(山本奈香)